

令和2年度 事業活動実施報告について

1 本会ビジョンの検討について

常任理事会委員及び運営委員会正・副委員長によるビジョン検討委員会を12月18日に開催し、本会の中長期のビジョンを検討しました。

新年度となる令和3年2月にクラブの新社長が就任、同月にクラブから新ビジョンが発表されるのを待って、今後クラブと連携を図りつつ検討していくこととします。

2 会員管理事業について

・会員拡大策

新型コロナウイルス禍という厳しい状況の中で、ホームゲーム開催時に新規会員、継続会員あてに「後援会オリジナルマスク」の配布を実施しました。

また、超厳戒態勢下での試合再開により、5万円、10万円法人会員の特典であるチケットポイント利用方法が大幅に変更となったため、7月上旬会員あてに利用方法の告知を郵便及びホームページにより周知しました。併せて、クラブオリジナルマスクを配布しました。

・会員交流

会員相互及びクラブとの親睦・交流の促進を図るための会員交流会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度は中止としました。

・アイデア募集

会員の皆様に「新型コロナウイルス禍における後援会にふさわしい事業提案の募集」を急ぎよ行いました。3件の応募があり、提案の1つとして「後援会オリジナルマスク」（再掲）作製をいただきました。

3 青少年育成支援事業について

新型コロナウイルスの影響でほぼすべての事業が休止になったため、参画できない状況でした。特に昨年からはじめたクラブアカデミー支援のバーベキュー大会は休止としましたが、支援金による激励に加え、以下の激励を実施しました。

・U18アカデミー選手の激励

第44回 日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会の開幕に向けた激励を実施（大和田 武 常任理事）

1) 日 時 令和2年12月17日（木）

2) 場 所 NTT 東日本志木総合グラウンド

4 地域活動事業について

・夏祭り・区民祭り等地域イベントへの参加

夏祭り等の事業はすべて休止となりましたので、この事業も休止となりました。したがって、今年度は応援うちわ、アルディージャシールもそれぞれ作製休止となりました。

- 大宮駅東口ロータリー花壇・芝生の管理
花壇の花の植替えは、大宮区コミュニティ課の支援により、会員や一般の参加をお願いしないで実施しました。また、芝生管理は、芝の生育状態が極めて悪いため、契約の解除をさいたま市都市局に申し出ました。
- 新型コロナウイルス感染拡大阻止とＪリーグ再開を願う横断幕を新たに設置
新型コロナウイルス感染拡大阻止に向けた取組みとして、JR 大宮駅東口駅前のすすらん通り入口に「今、一人一人が出来ることを！みんなで乗り越えよう！！」と記載した横断幕を4月21日に設置しました。
- 後援会オリジナルマスクの作製・配布（再掲）
アイデア募集により提案のあったオリジナルマスクを作製し、11月15日（日）J2リーグ第34節（ツエーゲン金沢戦）において、一般来場者をはじめ後援会会員などを対象にクラブのオリジナルマスクとともに配布し、サッカーのまちづくり、スポーツの振興や地域の活性化に貢献する活動行いました。

5 ホームゲーム活動事業について

- ブース活動
Jリーグ等からの方針のため休止していたブース活動について、10月14日（水）J2リーグ第26節（ジェフユナイテッド市原・千葉戦）から「メッセージ旗」などの活動を実施しました。
- 歓迎旗等の設置
アウェーチームのファン・サポーターに対するおもてなしとして、11月1日（日）J2リーグ第30節（FC琉球戦）から大宮駅東口すすらん通り入口にアウェーチーム名入りの歓迎横断幕の設置を実施しました。

6 広報活動事業について

後援会ホームページを活用し、ホームゲーム開催告知と観戦の呼びかけ、後援会ブース設置のPRなど情報発信に努めました。

7 渉外事業について

新型コロナウイルス禍で、実施できませんでした。

8 選手激励事業について

- ① 2020大宮アルディージャ選手激励会の開催
 - ホテルブリランテ武蔵野 約273人参加（令和2年2月9日）
- ② 激励の花束贈呈（ナック5スタジアム大宮において）
 - 黒川淳史選手Jリーグ通算100試合出場達成（令和2年12月2日）

以上